

みそのう研究室

環境と生物 生物進化 環境適応 藻類 人類



教授 御園生 拓(みそのう たく)

みそのう研は理系・生物学が基本だけど..

生き物とは何か、「生きている」とはどういうことなのか、
 というのは生物学の根源的な問いです。環境との相互作用によって生きている生き物をより深く理解することによって、わたしたちはこの世界をよりよく生きることができるようになるのではないのでしょうか。

キーワード：生命系と環境の生化学的相互作用、生命の分子的/進化的理解、ヒトおよびヒト社会の進化的理解、ヒトが生物であることの意味、科学という行為 他

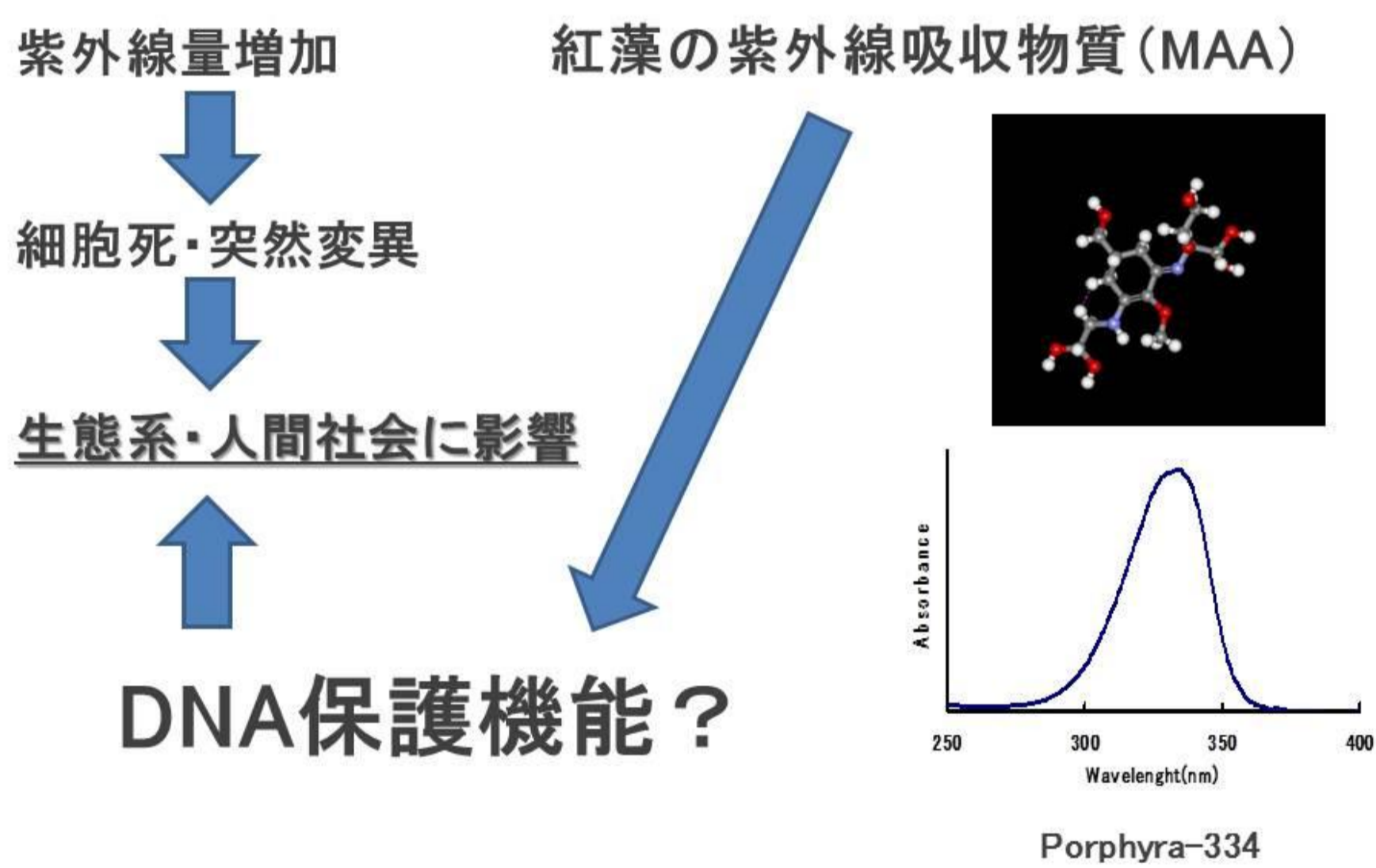
研究テーマ1 「環境と生物の生理・生化学的な関わり」
 藻類に含まれる紫外線吸収物質の生理的役割の解明

研究テーマ2 「持続可能な生物生産システムの開発」
 畜産等廃棄物を利用した資源循環型システムの構築

研究テーマ3 「人間と人間社会の進化的理解」
 現代社会における人間心理・行動の進化心理学的研究

研究テーマ4 「環境・科学リテラシーの向上」
 環境理解のための科学的知識および思考法の啓発

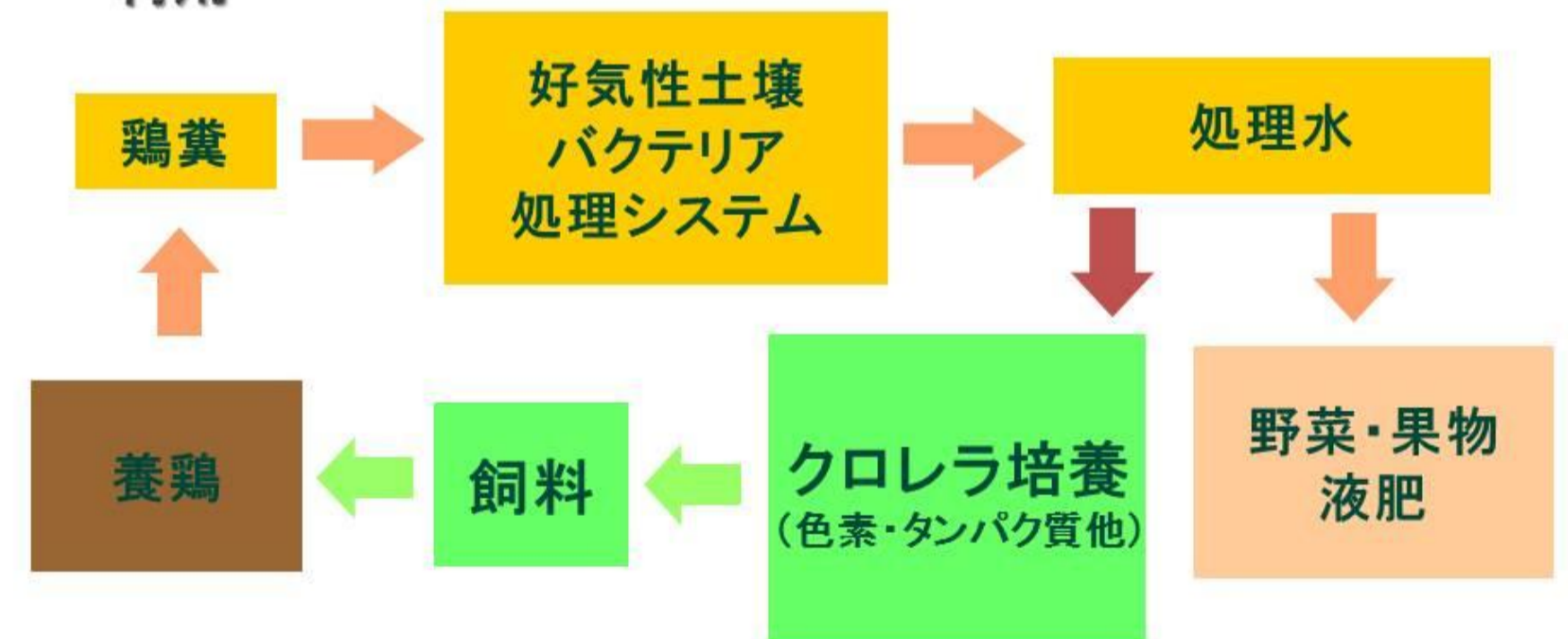
テーマ1：紅藻紫外線吸収物質のDNA防御機構の解明



テーマ2：

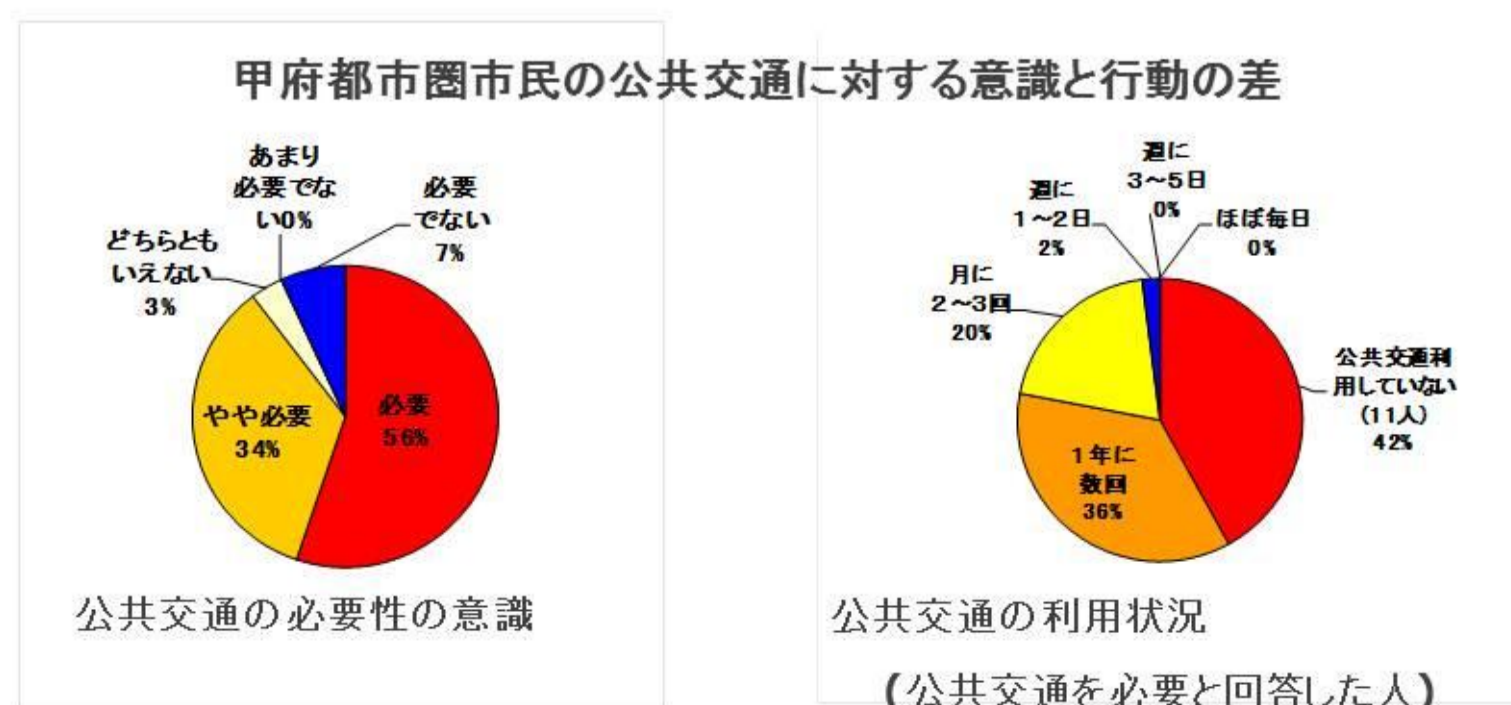
農業畜産分野における環境負荷低減システムの構築

➢ 畜産等廃棄物処理水による単細胞緑藻クロレラの培養と利用



テーマ3：現代都市文明環境への進化心理学的提言

- 現代社会の歪みの根源の生物学的根拠 <人口が多すぎる
- 現代文明の都市構造:非人間的！ <脳の容量不足
- 生物としてのヒトの特性を認識するべき >都市計画への進化心理学的貢献



テーマ4：社会啓発による科学リテラシーの向上

- 日本人の科学リテラシー:OECD中最低！
- 科学的な物の見方・考え方を伝える必要
- 科学教育・環境教育への展開
 - ・「放射線と現代」
 - ・「環境とのおつきあいのしかた」
 - ・「わたしたちはサルだ！」